

## 「バケツ稲 育ちました！」

～5年生 総合的な学習の時間「バケツ稲を育てよう」～

今年の5月からバケツ稲を育てる準備を始めた5年生。

子供たちは、毎年ご指導いただいている地域の方のアドバイスの元、土づくりから苗植え、水やりをはじめ、夏休みには全員交代で当番をしてお世話を続けてきました。今年の夏は梅雨が短く、思うように育たない時期もありましたが、アドバイスを受けながら時期を調整して水切りや溝切りを行い、白い花が咲きました。

ぐんぐん草丈を伸ばすバケツ稲に、うれしそうな子供たち。10月にはお米が実り、いよいよ収穫です。苗植えをしたときの何倍にもなった太さの苗。一生懸命お世話をした甲斐がありました。そこからしばらく乾燥させ、粳摺りと脱穀も経験しました。やっと玄米になり、見慣れたお米の形になって「ここまで大変だったなあ。」と子供たちがぼつり。米農家さんの大変さを、実感した子供たちでした。

12月には家庭科の学習と関連させて、収穫したお米を炊いて、おにぎりにして食べました。「やっぱり自分たちは苦労して作ったお米は一味ちがう！」と、一粒一粒味わって頂きました。

一連の学習を通して、稲がどのように育つのか理解を深め、毎日食べるお米の大切さや食べ物を作ってくださっている方々の大変さを学ぶことができました。関わっている方々、食べものへの感謝を忘れず、生活していきます。地域の方、ボランティアコーディネーターの皆さん、様々なことを教えていただき、ありがとうございました。

